



税理士・社会保険労務士・中小企業診断士

みずの通信

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶉 3-70-7

TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2013年新年号

迎春

平成25年 元旦



所長 水野 雄二

去年は、思い返すとずいぶん盛り沢山な一年だったと思います。

スポーツは4年に一度のオリンピック、日本人選手の活躍とイギリスの洗練された演出でテレビに釘付けでした。岐阜国体は47年ぶりのご当地開催とあって、ちょっとだけ雰囲気を楽しみました。

外交は緊迫した尖閣、竹島問題。不安のなかにも私のナショナリズムが疼きます。

政治はアメリカ大統領選挙、韓国大統領選挙、日本の衆議院選挙。

本は久々に強烈な印象を残す一冊に出会いました。「星を継ぐもの」(ジェイムスPホーガン著、1977年作)です。どこまで本場でどこから空想なのか、SF小説ならではの切れのよさで宇宙の謎を解く、久々に高揚感に満ちた感動のラストでした。

映画は「レ、ミゼラブル」、私の大好きな歌と映像と物語の世界です。久しくこれとは感じる作品に出合えず、私の感性は衰えてしまったと思っていたのですが、全編、私の心が思いっきり揺さぶられました。私の求める舞台のミュージカル、映画のミュージカルの面白さがぎゅっと詰まっていた。私の心に長く残る作品となるでしょう。

音楽の世界では岐阜県交響楽団の演奏会で、NHK大河ドラマの「お江」と「清盛」のテーマ曲を聴きました。テレビでは感じられない音の立体感、艶やかさ、強烈さは驚きの発見であり、鳥肌ものでした。もう一度、生で聴きたいです。

旅行は家族で行った北京旅行が楽しかったです。

また、特撮博物館(東京都現代美術館)を観たさに東京へ行きました。大好きだった特撮映画がCGに取って代われ、ノスタルジーの世界となっていくことも含めて、工夫された豪華な展示を観ながら、思うところも多い時間でした。

ついでに巡った華厳の滝～中禅寺湖～東照宮の「はとバス」の旅は本当にお値打ちで、良い旅行でした。

趣味のフラメンコギターは相変わらず自己満足の世界です。爪を初めて割り、危機一髪でした。合唱は色々あって、後半小休止となりました。



昨年末の衆議院選挙は群雄割拠の戦国絵巻、天下分け目の関ヶ原合戦を目の当たりに見るようで、私には大変面白く、学ぶことの多いものでした。

まず、民主党政権が倒れました。私は民主党のオリジナルな政策を否定するものではなく、原発事故への対応も当初はまずまずだったように思います。民主党のまずさは、公約を守らなかったことから国民の支持を失い、そのため敵方の自民党を懐柔するために盟友を切り捨ててしまったことです。それで多くの党員の支持をも失ってしまいました。秀吉亡き後の豊臣政権のようでした。党首が戦国時代の大将の器ではなかったのでしょうか。苦しい時こそ原理原則、仲間の結束が大切でしょう。

石原元都知事のカリスマ性は、都知事を降りてからは大幅になくなった気がします。都知事という地位があったうえで、あのキャラクターが受けたのでしょうか。地位がなくなるとキャラクターが浮いてしまいます。これは本人たちにとって大きな誤算ではなかったかと思います。地位は大切だと思いました。

未来の党は、小沢氏を頼りながら、小沢氏を隠しました。小沢氏は多くの人に嫌われているが、頼りになるとも思われていることは、未来の党の人たちも知っていたと思います。ならば小沢氏を前面に出して、小沢氏と仲良く協力してやっていけるところを嘉田氏は見せなくてははいけませんでした。姑息でした。

各陣営が自分たちに風が吹くようにとそれぞれ策を講じましたが、風は常に変わり、なかなか予断を許さず、そして最後は雪崩のように自民党に勢力が傾いていきました。大勝した自民党議員の人ですらあまりに大きく風が変わるのに戸惑いを隠しません。

多くの方は、大勝しても自民党の得票率は低かったとか、消極的な選択だったとか総括します。私はそんな話、どうでもよいと思います。自民党は、大政党でありながら結束力は極めて強く、組織票をごっそりとまとめ上げ、真正面から強気の姿勢で臨んだのが、大きな風を呼び込んだのだと思います。関ヶ原合戦の徳川方の手法そのものです。この力技、見習うべきです。

今年はどうなるか。

毎年、一年が終わってホッとして、新しい年を迎えて、漠然と不安を抱きます。勢い初詣に力が入ります。

さあ、私どもに、そして皆様方に、良き風を呼び込めるでしょうか。



例年、税制改正大綱をご報告させていただくのですが、去年は年末に選挙で選手交代、その発表すらありませんでした。

そのため、今年度の気になる施策を報告させていただきます。

1 2月から「でんさい」サービスが開始される予定です。

これは、手形決済に代わる電子決済システムで、手形とほぼ同じ仕組みで、裏書、割引ができ、手形と違うのは、分割して一部を割引、一部を廻し、一部を決済、ということができ、印紙がいらないこと、管理がしやすいことでしょう。不渡りや、手形取引所の交換停止処分は手形と同様です。急速に普及すると思われます。

2 金融円滑化法が3月末で期限切れとなります。金融円滑化法により返済猶予、リスクが金融機

関の協力のもとに行われてきました。期限切れになっても大きな変化はないとの話もありますが、この法律の適用がなくなれば、金融機関は好むと好まざるとに関わらず、それなりの対応が必要となるでしょう。この法律の適用実績は、岐阜県が全国2位だそうです。

3 経営力強化支援法が金融円滑化法の打ち切りに代わって施行されますが、個人的には従前の施策の焼き直しの域を抜けるものではなく、インパクトに欠ける施策だと思います。

金融円滑化法は某政治家の政治的決断とリーダーシップにより成立したものですから、インパクトがありました。経営力強化支援法は官僚の産物ですから、何の新味もありません。安倍政権になって新たなインパクトのある施策は出てくるのでしょうか。

4 復興税が個人は今年1月から25年間、法人は平成24年4月1日以後開始の事業年度から3年間課税されます。よって法人の場合は、一般的には今年の4月1日以後終了していく事業年度から課税が始まります。

5 法人税は平成24年4月1日以後開始の事業年度から法人税が15%ほど減税されます。よって、計算上、復興税の10%の増税より減税とはなりません。

6 消費税増税は、予定としては来年4月からですので、今年はありません。

7 扶養控除等の申告書の保存期間が法律で7年と規定されました。

8 岐阜県税事務所が総合庁舎からふれあい福寿会館に移転しました。



余談です。

ほりえもんのライブドアホールディングス(LDH)が平成24年12月に清算終了しました。何度か分配した後、平成24年8月時点の現金預金が100億円、不動産等はありません。平成24年12月に残余財産分配完了で、その間の4か月で清算事務費として10億円が計上されています。明細はありません。あまりの巨額さに首を傾げてしまいます。その大半が、役員や清算人の報酬か退職金でしょうか。あの事件以後、コンプライアンス第一と外部から役員が入り、事業報告は立派なことを書いてもただ子会社を切り売りするだけ、その間の報酬も1人何千万円でした。会社は食べ物にされて清算完了となった、そのようにしか見えません。

良きにつけ悪きにつけ、躍動感あふれた企業がテレビ新聞等で徹底的に弾劾され、役員が総入れ替えとなった後、誰も見向きしなくなったところで、何の意欲もない新たな役員達が安閑として大きな報酬をとって先人の築いた財産を食いつぶしていく、私にはその方が悪に見えるのですが、法の世界では正義なのでしょう。

こんな話、山ほどあるのでしょうか。

なお、私は上場廃止間際に、今後の成り行きを見届けるために、わずかだけ株式を購入しました。その私でも、収支はトントンでした。

まるちゃん正麺がバカ売れだそうです。他社がマニャックなカップ麺やカップライスの開発に勤しんでいる間を縫って、袋麺の開発で勝負して、消費者のシンプルなニーズを適確に捉えて大成功しました。消費者に便利な機能をと色々開発してもなかなか人気が出ない日本製品、その解決策を明解に見せつけたようで、愉快でした。

私にはIPS細胞の話は解らないので、この話の方が親近感をおぼえます。